

- 2 > コロナ禍で拡大するそれぞれの悩み
ひとりで悩まないで
> 9月補正予算が議決されました
- 3 > 県は里親制度を推進しています
> 職員の給与のあらし
- 8 > 体罰禁止の法定化について
> ともいきバトン

4~7 ページは「かながわ情報館」です

※記事は10月15日時点の内容であり、変更になる場合があります



黒木さんからのメッセージ

C-CATは、県内の医療機関等に勤務する感染症対策専門の医師や看護師を中心に活動しています。私は、現在まで9施設を訪問し、感染対策指導や職員教育、感染防護用具の手配などを保健所と連携して行い、感染が少しでも早く収束するよう支援しました。訪問先では、「とても不安だったが、話ができて安心した」という声を聴きます。医療福祉を担う職員の皆さまが安心して感染対策ができるよう、C-CATの経験を広め、生かしていきたいと思えます。

県立保健福祉大学 実践教育センター 実践教育部
感染管理認定看護師教育課程担当教員 黒木 利恵

クラスターの拡大防止！ シーキャット C-CATが支援します。

県は、医療機関や福祉施設等で
新型コロナウイルス感染症の
クラスター(感染者集団)が疑われる
ケースが生じた際に、
所管の保健所からの要請を受け、
神奈川コロナクラスター対策チーム
(C-CAT: Corona Cluster Attack Team)を
現地に派遣し、保健所が行う
感染拡大防止対策を支援しています。
これまでに12施設で、実状調査や
感染拡大防止指導、必要な資機材の
手配などの支援を行ってきました。

C-CATの具体的な活動内容やクラスター事例の
検証・対策についてはこちらをご覧ください。



新型コロナウイルスの県内新規陽性感染者数は、8月上旬以降、一時期減少傾向は見られたものの、未だ収束は見通せず、ウイルスとの闘いは長期戦になっています。

このウイルスの特徴は、感染しても症状が出ない方も多く、知らない間に感染が広がること、また、クラスター(感染者集団)が発生し、一気に感染者が増える場合があることです。

県内でも、これまでに医療機関、福祉施設、学校等でクラスターが発生しています。クラスターが生じると地域の医療体制が圧迫されるだけでなく、例えば、福祉施設であれば、施設本来の福祉サービスの維持が困難になる場合があるなど、皆さんの生活にも重大な影響を及ぼしてしまいます。

そこで、県では、このクラスターの拡大を防止するため、5月に「神奈川コロナクラスター対策チーム(C-CAT)」を設置して、保健所の要請により、医師、看護師など感染症の専門家を現地に派遣し、感染の実状調査、感染拡大防止指導等の必要な支援を行っています。

また、7月から感染拡大リスクが高い施設等では、濃厚接触者以外にも検査対象を拡大して集中検査を積極的に行い、感染拡大の早期の封じ込めを行っています。

今後も県民の皆さまが安心して暮らしや経済活動を続けられるよう、県としても全力を尽くしていきますが、引き続き、警戒が必要な状況が続いていますので、県民の皆さまには、徹底用心をお願いいたします。

神奈川県知事 黒岩祐治



知事による定例記者会見

【上記記事に関する問合せ】県医療危機対策本部室 ☎045(210)4634 FAX045(633)3770



コロナ禍で拡大するそれぞれの悩み ひとりで悩まないで

- こころの悩み
- 不登校
- ひきこもり
- 進路
- 仕事の悩み

こころの悩みにお応えします

いのちのほっとライン@かながわ

「生きるのがつらい」「苦しい」「コロナ禍が続き、気分が沈む」など、コロナ禍におけるこころの悩みを、専門の相談員にLINEで相談できます。



詳しくはこちら

対象 県内在住・在勤・在学の方
受付時間 月曜～金曜・日曜(祝・休日、年末年始を除く)17時～21時30分



県西部地域若者サポートステーション

※現在、感染防止対策を行った上で対応しています

LINE相談を受け付けています

かながわ子ども・若者総合相談センター

県は、子どもや若者のさまざまな悩みを相談できる窓口を設置しています。ご本人はもちろん、ご家族や周囲の方からのご相談にも応じます。プライバシーは厳守します。ひとりで悩まないで、まずは相談してみませんか。

☎ 045(242)8201



LINE 公式アカウント



その他、県内の子ども・若者の相談窓口はこちら

対象 おおむね39歳までの子ども・若者とそのご家族、関係者
受付時間 電話相談：火曜～日曜 9時～12時/13時～16時(年末年始を除く)
LINE相談：水・金・土曜 13時～16時(年末年始を除く)

高校生世代のさまざまな悩みにお応えします

若者の進路総合相談窓口 かながわみらいデスク

「進路についてどうしたらいいかわからない」「高卒認定資格って難しいの?」といった進路、高卒認定資格、就職についての悩みを、専門の相談員が総合的に支援し、あなたのみらいづくりのお手伝いをします。

☎ 080(7885)9400



LINE 公式アカウント



詳しくはこちら

対象 県内に在住・在学の15歳～おおむね20歳までの方
受付時間 月曜～金曜(祝・休日、年末年始を除く)10時～17時

職場定着までを支援します

地域若者サポートステーション

働くことに踏み出したい方とじっくりと向き合い、職場に定着するまで全面的にバックアップします。Withコロナ時代でのオンラインを活用した相談・講座も実施しています。



県内7カ所の連絡先はこちら

対象 15歳～49歳までの方とそのご家族

【上記記事に関する問合せ】

いのちのほっとライン@かながわについては県がん・疾病対策課 ☎045(210)4727 FAX 045(210)8860
かながわ子ども・若者総合相談センターについては 県立青少年センター青少年サポート課 ☎045(263)4467 FAX 045(241)7088
かながわみらいデスク・地域若者サポートステーションについては県青少年課 ☎045(210)3840 FAX 045(210)8841

9月補正予算が議決されました

新型コロナウイルス感染症への対応など、早急に対応する必要がある事業について計上した「9月補正予算」が令和2年第3回定例会で議決されました。

※下記は9月補正予算のうち主な取り組みと金額を記載しています

新型コロナウイルス感染症対策

1,861億8,904万円

▶ 医療提供体制の維持と感染拡大防止対策

1,416億8,747万円

- 診療体制・検査体制の維持
- 医療機関等が行う設備整備等に対する補助
- 病床確保協力事業費
- 軽度・無症状患者宿泊療養施設の借上げ等
- 医療機関経営支援事業費補助
- インフルエンザ予防接種事業費補助



インフルエンザ予防接種事業費補助

▶ 福祉サービスの提供体制の維持

40億5,640万円

- 福祉施設におけるマスクや消毒液の購入等
- 介護サービスへの介護ロボット等の導入支援

▶ 県内経済の回復に向けた支援

198億2,047万円

- 県内消費喚起対策事業費
- 新たな観光モデル創出推進事業費
- 中小企業・小規模企業再起支援事業費補助
- 信用保証事業費補助
- 県内工業製品購入促進事業費

▶ 医療の担い手支援

110億5,976万円

- 医療従事者等慰労事業費
- 薬局薬剤師慰労事業費

▶ 生活支援

90億531万円

- 生活福祉資金貸付事業費補助

▶ その他

5億5,961万円

- 「新しい生活様式」推進事業費補助
- 行政手続のオンライン化等の推進

新型コロナウイルス感染症対策以外

22億9,898万円

- 安心こども基金積立金
- 高齢者施設における給水設備整備等の取り組み

新型コロナウイルス感染症防止対策を行う事業者への補助金については、県中小企業支援課 ☎070(1187)0382、1304、0464、0549、0564、0574、0237へお問い合わせください
新型コロナウイルス感染症に係る慰労金事業については、各コールセンター(薬局薬剤師を除く医療分) ☎(0570)033160(介護・障害分) ☎(0570)077160へお問い合わせください
薬局薬剤師慰労事業については、今後県HP等でお知らせします

【上記記事に関する問合せ】 県財政課 ☎045(210)2266 FAX 045(210)8805

補正予算の内容について詳しくは、

神奈川県 補正予算

検索



県は里親制度を推進しています

里親制度は、家庭で暮らせなくなった子どもたちを、一定期間家庭に迎え入れて、愛情と理解をもって養育する児童福祉法に基づく制度です。「養育里親」や「養子縁組里親」のほか、施設で生活する子どもを週末や夏休みなどの短期間だけ受け入れる「3日里親」など、さまざまな迎え入れ方があります。里親として迎え入れていただくことはもちろん、里親の方や里親家庭で暮らす子どもたちがいることを知っていただき、温かく見守っていただくことも大きな支えになります。

「里親制度」をもっと知ってほしい

写真のご夫妻は、県内で里親として

「子どもたちのことを優先に考えていく」ことをモットーに、子どもたちを育てています。

里親になって、特にうれしかったことについて伺うと、「子どもから大好きと言ってくれたり、会話の中で、気持ちがあたたかくなる言葉をかけてくれる時が幸せです」と笑顔で話してくれました。



里親になるのは難しいの？

特別な資格は必要ありません

一定の要件はありますが、何よりも大切なのは子どもが大好きなこと。明るく健康なご家族であれば大丈夫です。また、子どもを養育するために必要な費用は、国や県が定められた金額を支給します。詳しくは最寄りの児童相談所や里親支援機関「里親センターひこばえ」にお問い合わせください。

神奈川県 児童相談所

検索



里親について知りたい 里親仲間と交流する場はあるの？

「里親センターひこばえ」

海老名市内に設置している里親支援機関「里親センターひこばえ」では、里親同士の交流の場として、また、たくさんの方々に里親制度を知ってもらうための活動をしています。「里親って何?」「どうすれば里親になれるの?」など里親に関する知識や相談先などの情報を提供しているほか、養子縁組に関する相談にも応じています。

里親センターひこばえ

検索



「里親会」

県内の里親で組織する里親会や関係機関等では、里親同士の交流の場などをつくっています。安心して子どもを養育できるよう、助け合いながら活動をしています。先輩の里親や専門の相談員に相談することもできます。

神奈川県里親会

検索



【上記記事に関する問合せ】 県子ども家庭課 ☎045(210)4655 FAX) 045(210)8868

職員の給与のあらまし

職員の給与は、県内民間の給与との比較を踏まえた県人事委員会勧告に基づき決定しています。

職員の平均給料月額状況

令和2年4月現在

一般行政職

▶ 平均給料月額 **329,280円** ※基本給のみで手当を除く

▶ 平均年齢 **43.2歳**

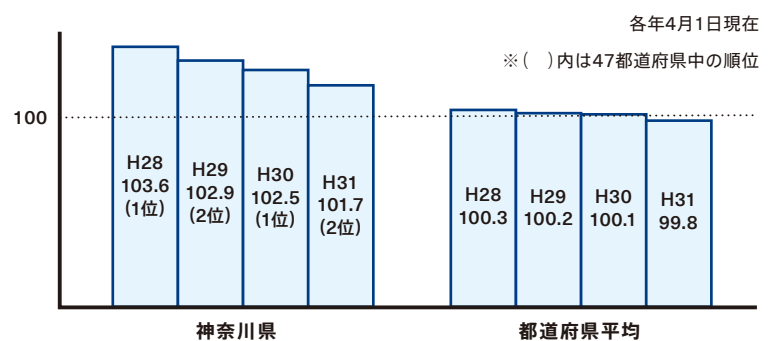
〈参考〉一般行政職の税引き後の平均給与年額

平均給与年額	税金等年額	税金等控除後
645万円	132万円	513万円

- 一般行政職：行政職員から税務職、福祉職、企業職等を除いた職員区分職員数8,694人
- 平均給与年額：期末・勤勉手当等諸手当を含み、時間外勤務手当等は除く
- 税金等年額：所得税、住民税、共済組合掛金を配偶者および子ども2人の家族構成で試算

ラスパイレス指数の状況

ラスパイレス指数とは、国の行政職俸給表(一)適用職員の俸給月額を100とした場合の地方公務員一般行政職の給料水準を示す指数であり、民間の給与の高い地域ほど高くなる傾向にあります。



職員の給与・職員数の詳細は、県公報(12月発行予定)および県ホームページに掲載します。県公報は、県政情報センター(県庁新庁舎2階)・各地域県政情報コーナーで閲覧できます。

【上記記事に関する問合せ】 県人事課 ☎045(210)2180 FAX) 045(210)8803

「相州三浦秋屋の里」

(写真:横須賀市・大橋 倫人さん)

タイトルは歌川広重が描いた『相州三浦秋屋の里』から借用しました。(令和元年11月撮影)

■場所:秋谷・立石海岸(横須賀市)

投稿写真募集中!詳しくは5ページへ



かながわ県のため
令和2(2020)年 11月号
No.787



<https://www.pref.kanagawa.jp/tayori/>

体罰等から、決して笑顔は生まれません。

体罰禁止の法定化について

子どもの権利を守り、体罰等のない社会を実現していくため、児童福祉法等の改正により、体罰が許されないものであることが法定化されました(令和2年4月1日施行)。例えば、「おしりをたたく」「ご飯を与えない」「きょうだいを引き合いにしてけなす」「怒鳴りつける」、これらはすべて体罰等に当たり、子どもの権利を侵害します。体罰等が子どもの成長、発達に悪影響を与えることは科学的にも明らかになっており、実際に体罰等が繰り返されると、心身にさまざまな悪影響を及ぼす可能性があることが報告されています。

子育てをする中で少しでも困ったことがあったら、お住まいの市町村の子育て相談窓口や保健センター、児童相談所等へご相談ください。

相談は、児童相談所相談専用ダイヤルへ

なやみ いちはやく

☎0570(783)189 ※通話料がかかります

24時間365日対応で、お住まいの地域の児童相談所につながります。相談は匿名で行うことも可能です。相談者や相談内容に関する秘密は守られます。

LINE相談を受け付けています
月曜～土曜 9時～20時(年末年始を除く)



【上記記事に関する問合せ】 県子ども家庭課 ☎045(210)4655 FAX)045(210)8868

ためらわないで! いのち・健康を守るために ~受診・健(検)診控えは危険です~

新型コロナウイルスへの感染を避けるために、受診や健(検)診を控えていますか?ご自身と、ご自身の大切な人のいのちと健康を守るため、必要な治療や検診、健康診断はしっかり受けましょう。健(検)診の窓口や医療機関の感染対策などを県HP「ためらわないで!受診・健(検)診」で公開しています。



【上記記事に関する問合せ】 県健康増進課 ☎045(210)4784 FAX)045(210)8857

ともに生きる

／今月は、ひらつか障がい者福祉ショップ運営協議会会長 高橋真木さんに伺いました!／



3密を避け、心と心をつなぐマスクを製作販売。

平塚市内を中心に28カ所の福祉事業所で組織する福祉ショップ「ありがとう」では、新型コロナウイルス感染拡大の中、少しでも地域の皆さまの役に立ちたいと、3月よりマスクの製作販売を始めました。市民の皆さまから好評を得て、現在は10事業所で1日60枚の販売をしています。その中で神奈川県が企画した「#リスペクトでつながろう」マスクにも参加し、「ともに生きる社会かながわ憲章」のハッシュタグのデザインを取れ入れたマスクも6月より製作販売しています。コロナ禍において、3密を避ける生活様式が求められていますが、心と心のつながりは、ますます必要です。私たちは「ともに生きる」社会の推進に取り組んでまいります。

県が企画した「#リスペクトでつながろう」マスクについてはこちら



マスクを掲げるスタッフの皆さん

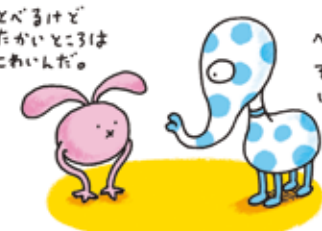
ともに生きる社会 かながわ憲章

平成28年10月14日 神奈川県

- 私たちは、あたたかい心をもって、すべての人のいのちを大切にします
- 私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現します
- 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
- 私たちは、この憲章の実現に向けて、県民総ぐるみで取り組みます

平成28年7月26日、障害者支援施設である県立「津久井やまゆり園」において、大変痛ましい事件が発生しました。このような事件が二度と繰り返されないよう、県と県議会は、この悲しみを力に、断固とした決意をもって、ともに生きる社会の実現をめざし、「ともに生きる社会かながわ憲章」を定めました。

かながわ憲章 検索



(提供)アリス館
イラスト出典:
「みえるとか みえないとか」
作者:ヨシタケシンスケ

このコラムでは、「ともに生きる社会かながわ憲章」の理念に共感していただいている方々のメッセージをご紹介します。

【上記記事に関する問合せ】 県共生社会推進課 ☎045(210)4961 FAX)045(210)8854



あなたの悩みとは「無関係」ではありません

知ってください。アルコールは、アルコール依存症はもちろん、健康障害、飲酒運転、暴力、DV、虐待などさまざまな問題を引き起こす可能性があります。

11月10日～16日は、
アルコール関連問題啓発週間です

